

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 60

令和2年(2020)
10月22日

おもな内容

- 議会100回記念講演会…… 2～3
- 令和元年度決算認定 …… 4～7
- 補正予算・条例改正 …… 8～9
- 一般質問 …… 10～23
- 委員会報告 …… 24～25
- 採決一覧・議案一覧 …… 26～27
- みんなの広場 …… 28

トピックス 新温泉町議会100回記念講演会を開催



どんと祭り



川下祭り (1963年)



諸野の海



浜坂港完成式 (1969年)



穴見海岸

地域主権 分権型社会時代の町づくり
— 輝く新温泉町への期待 —



の海



巨馬牧場公園



温泉町婦人別荘 (1963年)



湯村温泉街の繁栄時

令和2年9月17日 兵庫県副知事



あら き かず あき
本町出身の荒木一聡兵庫県副知事に講演いただきました

(令和2年9月17日 浜坂多目的集会施設)

町議会第100回記念講演会を開催

個性・魅力・品格をもって、
世界一暮らしやすい町づくりを



9月17日、議会第100回記念講演会を開催し、「地域主権・分権型社会時代の町づくり〜輝く新温泉町への期待〜」と題して本町出身の荒木一聡副知事に講演いただきました。

今年是新町発足15周年、町議会は5月臨時議会で100回を数えました。住民に開かれた議会を目指しており、住民の皆様には議会への関心を高めていただくことを目的に記念事業を開催したものです。

記念講演会には町内外から130人を超える参加があり、オープニングでは、町内アカベラグループ『PPMP』の皆さんによる歌が披露され、参加者全員で町民歌を合唱するなど、なごやかな雰囲気でも始めました。

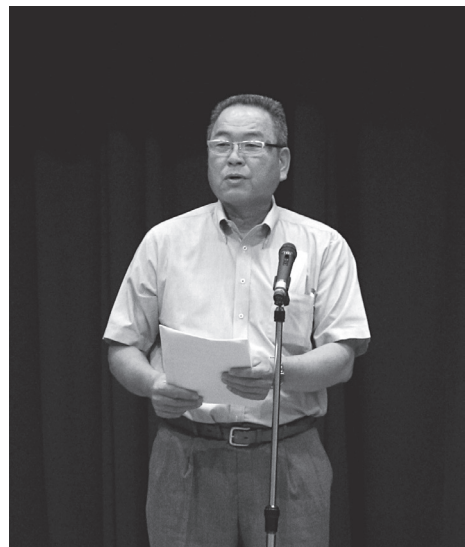
開会にあたり中井勝議長が「住民に身近な存在として果たす議会の役割はますます重要になっていくが、一方で、地域住民からは厳しい目が向けられている。我々は、議会のおかれている状況を的確に認識し、令和時代に

おいて議会はいかにあるべきか、住民の皆様とともに考えていきたい。」とあいさつしました。

講演では、荒木副知事が国・県・新温泉町の政策の歩みや、本町民を対象に行ったアンケート結果をもとに、本町の魅力や先輩たちが築いてきた人のつながりや品格を紹介。まとめとして「過密ではなく、過疎が求められる時代になっている。先輩方が紡いできた、

町の品格と誇り、感謝、愛情と自信をもって、ポストコロナ社会を先導する、世界一暮らしやすい新温泉町を築いてほしい」とエールをいただきました。

この記念講演を機に、議会の役割を再確認し、住民主権の町づくりへの決意を新たにしました。今後も地域発展に取り組んでまいります。が、町民の皆様には町政を知るためにも議会の傍聴にお越しく下さい。



開会あいさつをする 中井 勝 議長

新温泉町議会100回・町政15年のあゆみ

R 2・5・11	R 元・11・18	R 元・11・18	H 29・11・17	H 27・11・20	H 25・11・19	H 23・11・21	H 21・11・20	H 21・11・8	H 19・11・22	H 17・11・22	H 17・11・13	H 17・10・1
第100回新温泉町議会を開催	常任委員会を総務産建及び民生教育の2委員会に再編	第96回新温泉町議会 中井勝議長・池田宜広副議長	第85回新温泉町議会 中井勝議長・池田宜広副議長	第75回新温泉町議会 小林俊之議長・中井勝副議長	第62回新温泉町議会 西村敏弘議長・中井勝副議長	第45回新温泉町議会 小林俊之議長・西村銀三副議長	第27回新温泉町議会 岡坂峰雄議長・西村銀三副議長	町議会議員選挙(定数16人)	第13回新温泉町議会 田村昭議長・田中要副議長	第1回新温泉町議会を開催 小林俊之議長・西脇明副議長	合併後初の町議会議員選挙(定数20人) 総務教育、産業建設及び環境福祉の3常任委員会	浜坂町と温泉町が合併し、新温泉町が発足



旧大庭小学校出身の荒木副知事。同級生が応援に駆け付けました。



アカペラグループ『PPMP』。素晴らしい歌声で華を添えていただきました。

表彰

○兵庫県町議会議長会長表彰

小林 俊之 議員(30年以上在職)



受付では検温を実施

ひょうごスタイル
当記念事業については、事前の申込みにより、当日の検温・マスクの着用・手指の消毒といった新型コロナウイルス感染対策にご協力いただきました。

令和元年度決算認定

第103回（令和2年9月）定例会
が9月1日に招集され、9月30日まで
の30日間の会期で開催しました。町提
出案件は、令和2年度補正予算案9件
のほかに、報告2件、条例案1件、事件
案1件、人事案18件、令和元年度決算
認定11件の合計42件が提出されました。
決算認定にあたり、決算特別委員会を
設置し4日間の集中審査の結果、原案
どおり認定しました。

一般会計の決算

令和元年度の歳入歳
出決算状況は、歳入総
額105億8,129
万8千円、歳出総額
104億5,477万
4千円、歳入歳出差引
額（形式収支）は1億
2,652万3千円と
なり、そのうち令和元
年度に繰越すべき財源
3,068万6千円を
差引いた額（実質収支）
は9,583万8千円
となっている。

普通会計における令
和元年度末の町債現
在は、144億6,
372万2千円であり、
実質公債費比率は10.
6%となっている。
債務残高比率は237.
6%となり、町民一人
当たりの町債残高は
101万1,591円と
いずれも増加している。

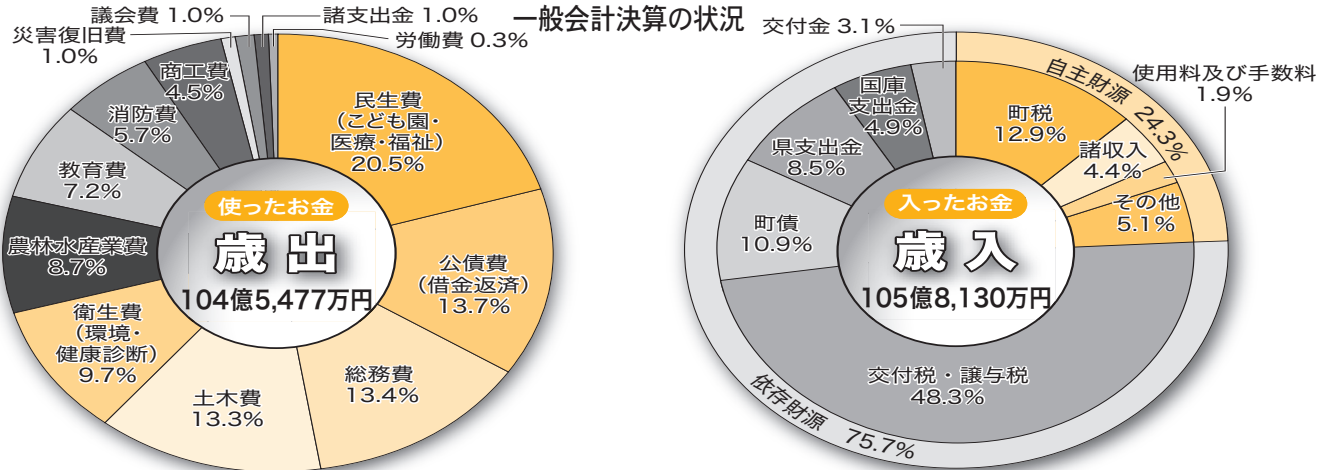
特別会計の決算

特別会計6会計の歳
入決算額は52億120
万1千円、歳出決算額
は50億4,561万2
千円で、歳入歳出差引
残額は1億5,558
万9千円となっている。

一般会計ならびに、特
別会計の決算状況は下
の表のとおりである。

令和元年度

一般会計決算の状況



令和元年度 各特別会計の状況

(単位：千円)

会計名		歳入(A)	歳出(B)	差引(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
国民健康 保険事業	事業勘定	1,567,087	1,559,532	7,555	0	7,555
	照診施設勘定	19,668	19,668	0	0	0
	八診施設勘定	15,434	15,434	0	0	0
	歯科施設勘定	50,841	50,840	1	0	1
後期高齢者医療事業		223,628	222,797	831	0	831
介護保険事業		1,778,431	1,770,543	7,888	0	7,888
浜坂地区残土処分場事業		1,470,888	1,352,777	118,111	89,907	28,204
温泉地区残土処分場事業		65,122	47,748	17,374	0	17,374
七釜温泉配湯事業		10,102	6,273	3,829	0	3,829
合計		5,201,201	5,045,612	155,589	89,907	65,682

令和元年度 各企業会計の状況

(単位：千円)

会計名	収益収支		資本収支	
	収入	支出	収入	支出
浜坂温泉配湯事業会計	42,845	40,286	10,500	10,379
水道事業会計	381,098	416,654	400,734	467,559
下水道事業会計	1,050,267	927,608	108,290	448,267
公立浜坂病院事業会計	1,287,722	1,292,718	257,363	243,395

公営企業会計4事
業の決算について、
企業会計の根幹とな
る料金収納は、未収
金が増加して
いる。

公営企業会計の決算

『政策の効果をチェック!!』

決算認定は、決算から施策に成果を点検し次年度に反映すべく議論するものです。今回の決算特別委員会では、委員長に池田宜広議員、副委員長に岩本修作議員を選出し、議長を除く15名の委員で一般会計、特別会計、企業会計の全11会計を審査しました。集中して多くの議論がありましたが、紙面の都合のため一般会計審議の一部を紹介します。

温泉活用の効果

Q 自動車借上料の内容と電気自動車コムスにかかる借上料の内訳は、効果は。

A 町民バスとコムス3台4カ月分。他にコムス2台分は無償。経産省に実績報告するが、効果試算は未実施。

Q ホームページで温泉活用による二酸化炭素削減をアピールすべきだ。また、項目別の閲覧実績は。

A 温泉活用のアピールは今後、検討する。閲覧は、観光、イベント、入札関係が多い。

Q 企画費の旅費の内訳は何か。

A 民間企業へのワークショップ誘致活動、ワークショップ開催の研修及び小学生の飛行体験である。

国際交流

Q 高校生の国際交流事業の目的国が変更にな

なった経緯は何か。

A 受け入れ先であった韓国の大学の教授が退職になり、受け入れが容易であった台湾に変更した。

ケーブルテレビ事業

Q ケーブルテレビでの一般質問の放送日数が減り、放送時間帯も同一時間帯に偏っているが、改善策は。

A 放送回数は変更なく確保している。放送時間帯については、改善したい。

Q 一般質問以外のインターネット配信や他の議会実況中継はできないのか。

A 現在のスタッフ体制では困難である。

Q 購入したドローンは誰が操作するのか。

A 操作自体は多くの職員が可能だが、許可を要する区域での操作は、ケーブルテレビの職員1人だけである。

電算システム

Q システム改修に伴う委託料の支出があるが、節約への方策は。

A 今後、国の制度としてシステムの標準化が進められる予定だ。

Q 徴税未納額が増加しているが、何故か。

A 滞納管理システムを導入したが、徴収担当が2名減の2名となり、十分な処理ができていない。

高齢者・障がい者福祉

Q 障がい者相談事業委託の内容は。

A 障がい児・者にかかる相談に対応し、適切な事業所につなぐ役割を担うこと。

Q 自動車改造費助成事業の内容は。

A 昨年は、左ペダルへの改造費を助成した。

Q 外出支援サービスの充実策はあるか。

A 介護タクシーの利用を可能とした。

認定こども園

Q 正職員26名、臨時職員33名。クラス担任は正職員がすべきだが実情はどうか。保育士は不足していないか。

A 育休の時のみ、臨時職員に対応してもらった。それ以外は正職員で対応している。必要な職員の配置はできている。

Q 整備検討委員会は事業化できないことになっているか。

A 残念ではあるが、委員会としては選定の任務は終わった。行政と議会とで協議して欲しいとの思いである。

Q 検討委員会の選定地はハザードマップでは浸水地域だ。検討委員会の資格が問われるのではないか。

A 安全性の尊重を基本にすべきと思っている。

予防接種

Q 子宮頸がん予防ワクチンの接種実績が上がった理由は。

A 以前は副作用があると報道されたが、何年か経過し、必要と判断され希望者が増えた。

Q 副反応で裁判となり、積極的に勧めることが控えられたが、現在はワクチンの薬害ではないと示されている。安全性を周知すべき。

A 接種の必要性を周知していきたい。

シルバー人材センター

Q シルバー人材センターへの仕事の依頼の実態は。消費税アップやコロナの影響はないか。

A 受注件数は減っているが、金額は微増。コロナの影響は、毎年の依頼のある事業所からの受注が中止等。技能職が減り、対応し難くなった職種もある。

漁港等の管理

Q 海岸環境美化清掃業務の内容は。

A 浜坂・居組・諸寄三港の漂着物の撤去。陸からとれないものは、漁協に依頼し、船で漂着物を回収している。

農業振興

Q 新規就農者確保事業の実績5名の内訳は。

A 他市町からの就農者は1名。男女別は男性4名、女性1名。種別では畜産1名、花1名、野菜3名である。

牧場公園

Q 芝生の張替えが行われたが、コロナで団体客が見込めない中、どのようにリピーターを確保すべきか。

A 人工芝から天然芝に替え、牛の放牧等を行う。地元の方の協力で、自然を活かした取り組みでリピーターを増やす。

起業支援・商業振興

Q 地域おこし協力隊への起業補助の詳細は。

A 照来での女性による牛の畜産業の起業。

Q 地域資源活用事業補助金の成果は。

A 新商品開発に補助する。成果は1事業者。荒湯でゆでた卵を味付けするタレを開発。

Q 起業支援事業補助金の成果は。町外からの移住者はいるか。

A 1/2補助で、50万円を上限。船舶修繕業・洋服小売業・児童福祉サービス業・障害者就労支援事業・獣医師の5件。うち1件が町外からの方である。

Q ジオパーク館10周年事業の内容は。

A JAXA宇宙航空研究開発機構から講師を招き講演会開催。参加者は約60人だった。

Q スマートグラスとはどういうものか。そのPRは。

A 眼鏡型の端末で、AR映像と音声で館内を説明する。3月に導入したが、コロナ禍でPRできていない。今後、麒麟のまちDMOと協力して進める。

Q 地域おこし協力隊の活動費は、隊員の希望と調整できているか。

A 予算編成時に確認している。

Q 隊員が使う車輛の管理は。

A 臨時職員の身分でもあり、公用車として庁舎に置いている。

るか。委託業務は協力隊の主旨と合うのか。

A 把握はできている。隊員の身分、委託する業務内容等は整理していく。

Q 休止中のバイナリー発電、不用額として修繕料が計上されているが内容は。再開の目はあったか。

A 町・県・設置業者で調整が進んでいる。本年10月中旬に協議の予定。2機あるうち、故障していない1機は今でも有事の際に利用可能である。

Q リフレッシュ館は休業があった。指定管理料が、前年より増えているのはなぜか。

A 風呂改修に伴う2カ月間の休業補償を上乘せしている。

Q 第3セクターでの事業であり、かつては収益も上がっていた。今は公金を繰り入れていない。対応が必要ではないか。

A 施設も老朽化している。他市町にある同様の施設と比較しながら、今後見直していく。

Q 線越しとなった温泉総合支所対岸の道路拡幅事業の進捗は。

A 春來川の河川区域を含んでいるため、県土木事務所と協議が必要となっている。調査も必要で、協議は進んでいる。

Q 防災安全室の評価は。

A 防災に特化した職員を配置し、住民と協力しながら進める。

Q 久斗山地区・岸田地区といった上流部で、24時間降雨量500mmを超える想定をシミュレーションしているか。

A していない。

Q 消防団員欠員の状況は。

るか。委託業務は協力隊の主旨と合うのか。

A 把握はできている。隊員の身分、委託する業務内容等は整理していく。

Q 休止中のバイナリー発電、不用額として修繕料が計上されているが内容は。再開の目はあったか。

A 町・県・設置業者で調整が進んでいる。本年10月中旬に協議の予定。2機あるうち、故障していない1機は今でも有事の際に利用可能である。

Q リフレッシュ館は休業があった。指定管理料が、前年より増えているのはなぜか。

A 風呂改修に伴う2カ月間の休業補償を上乘せしている。

Q 第3セクターでの事業であり、かつては収益も上がっていた。今は公金を繰り入れていない。対応が必要ではないか。

A 施設も老朽化している。他市町にある同様の施設と比較しながら、今後見直していく。

Q 線越しとなった温泉総合支所対岸の道路拡幅事業の進捗は。

A 春來川の河川区域を含んでいるため、県土木事務所と協議が必要となっている。調査も必要で、協議は進んでいる。

Q 防災安全室の評価は。

A 防災に特化した職員を配置し、住民と協力しながら進める。

Q 久斗山地区・岸田地区といった上流部で、24時間降雨量500mmを超える想定をシミュレーションしているか。

A していない。

Q 消防団員欠員の状況は。

るか。委託業務は協力隊の主旨と合うのか。

A 把握はできている。隊員の身分、委託する業務内容等は整理していく。

Q 休止中のバイナリー発電、不用額として修繕料が計上されているが内容は。再開の目はあったか。

A 町・県・設置業者で調整が進んでいる。本年10月中旬に協議の予定。2機あるうち、故障していない1機は今でも有事の際に利用可能である。

Q リフレッシュ館は休業があった。指定管理料が、前年より増えているのはなぜか。

A 風呂改修に伴う2カ月間の休業補償を上乘せしている。

Q 第3セクターでの事業であり、かつては収益も上がっていた。今は公金を繰り入れていない。対応が必要ではないか。

A 施設も老朽化している。他市町にある同様の施設と比較しながら、今後見直していく。

Q 線越しとなった温泉総合支所対岸の道路拡幅事業の進捗は。

A 春來川の河川区域を含んでいるため、県土木事務所と協議が必要となっている。調査も必要で、協議は進んでいる。

Q 防災安全室の評価は。

A 防災に特化した職員を配置し、住民と協力しながら進める。

Q 久斗山地区・岸田地区といった上流部で、24時間降雨量500mmを超える想定をシミュレーションしているか。

A していない。

Q 消防団員欠員の状況は。

るか。委託業務は協力隊の主旨と合うのか。

A 把握はできている。隊員の身分、委託する業務内容等は整理していく。

Q 休止中のバイナリー発電、不用額として修繕料が計上されているが内容は。再開の目はあったか。

A 町・県・設置業者で調整が進んでいる。本年10月中旬に協議の予定。2機あるうち、故障していない1機は今でも有事の際に利用可能である。

Q リフレッシュ館は休業があった。指定管理料が、前年より増えているのはなぜか。

A 風呂改修に伴う2カ月間の休業補償を上乘せしている。

Q 第3セクターでの事業であり、かつては収益も上がっていた。今は公金を繰り入れていない。対応が必要ではないか。

A 施設も老朽化している。他市町にある同様の施設と比較しながら、今後見直していく。

Q 線越しとなった温泉総合支所対岸の道路拡幅事業の進捗は。

A 春來川の河川区域を含んでいるため、県土木事務所と協議が必要となっている。調査も必要で、協議は進んでいる。

Q 防災安全室の評価は。

A 防災に特化した職員を配置し、住民と協力しながら進める。

Q 久斗山地区・岸田地区といった上流部で、24時間降雨量500mmを超える想定をシミュレーションしているか。

A していない。

Q 消防団員欠員の状況は。



健康風呂を改修したリフレッシュ館

令和元年度一般会計
決算認定

反対討論

谷口 功議員

第1に、この1年間
予算執行が法の原則
に沿って執行され、職
員の指揮監督がしつ
かりなされたのか、自
己点検が不十分だ。
第2は、頻発して
いる不祥事への対応
が不十分だ。
第3に、夢ホール改
修事業は「町公共施設
等総合管理計画」に沿
い財政計画を示した
うえで進めるべきだ。
第4に、はまさか
認定ことも園の現在
地改築は不適切だ。
最後に、滞納の債
権の発生防止・回収
時間外勤務削減、職員
の人材育成、事業効果
と成果の評価・検証等、
監査指摘に真摯に取
り組まれるべきだ。

令和元年度町後期高齢
者医療特別会計歳入歳
出決算認定

反対討論

谷口 功議員

後期高齢者医療制
度は、年齢で差別的医
療を押し付ける、あつ
てはならない制度で
ある。
これまで、段階的に
低所得者などの保険
料軽減措置を廃止し
ている。今年度、残さ
れていた保険料の均
等割りを、9割と8.
5割に軽減する特例
措置を廃止して7割
軽減に戻した。
消費税を10%に引
き上げ、高齢の低所得
層に二重の苦しみを与
えるものであり、認め
られない。

令和元年度町介護保険
事業特別会計歳入歳出
決算認定

反対討論

谷口 功議員

介護保険制度は、2
000年4月から施
行された。国は当初
「家族介護解消」「社会
全体で介護を支える」
としていた。しかし
今では、親の介護の
ため「介護離職」、高
齢者が介護する「老々
介護」が常態化してい
る。介護心中や介護殺
人なども増えており、
もはや「社会が介護
を支える」ことは有
名無実化している。
サービスを受けら
れる人は13〜14%に
過ぎず、重い利用料
負担、「いくら払える
か」でサービスの内
容を決めざるを得な
い状況になっている。
制度を当初の目的に
戻すべきだ。

令和元年度町水道事業
会計決算認定

反対討論

谷口 功議員

入札妨害事件を起
こした所管課として、
厳しく検証し再発防
止の方策と決意を示
すことが求められて
いる。
上下水道課の所管
する水道事業会計の
未収金残高が過去5
年間で4倍、下水道事
業会計では4.3倍に
増加していると監査
指摘されている。未収
金理由の分析を行い、
必要なら健康福祉課
等との連携も要する。
いずれの課題も事
業を持続するために
解決は避けて通れな
い。
所管課として責任
の所在を明らかにし、
行政組織上げての行
動が求められている
ことを指摘する。

令和元年度水道事業会
計決算認定

反対討論

平澤 剛太議員

水道料金の滞納は、
大きく膨らみ1,92
4万円になっている。
安全な水を供給し
続けるためには、適切
な料金体系の下、使
用料を支払ってもら
う必要がある。
今の料金体系で、設
備が維持できるのか
議論が必要となつて
いる。そんな現状で、
町長個人から「値上
げはしたくない」と
言う答弁が出る。
行政の仕事の多く
は、当たり前なこと
を当たり前になし、
安全・安心な生活を
守ること。
この審議内容では、
滞納を解決すること
は難しいと判断し、決
算認定に反対する。

令和元年度下水道事業
会計決算認定

反対討論

平澤 剛太議員

下水道使用料の滞
納は、1,283万円
になっている。
答弁の中で、担当課
は人が足りないと言
い、副町長は横の連
携で解決すると言う。
町長に至っては精神
論で語っている。
町長は、トップの仕
事は町民の話を聴く
ことだと度々述べら
れるが、良い顔をする
だけでは行政運営は
できない。やるべき
ことは適正にこなす。
説明し、理解を得る
ことが必要だ。
この審議内容では、
滞納を解決すること
は難しいと判断し、決
算認定に反対する。

職員による入札妨害事件で 町長の給与を減給！

条例等の改正

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定について

【可決】

説明 入札妨害事件に係る職員不祥事に対し、管理者として自ら律するもので、給与の1/10を1カ月減給する。

減給の根拠は。

A 入札情報を漏らし、公務員としての信頼を下げた。過去の事例を考慮して決めた。

Q 町長は3年余りの任期で既に3回、職員の不祥事により減給している。いずれも給与の1/10を1カ月減給した。今回も同等の重さと考えているのか。

A 一定のけじめが必要と考えての減給。管理者としての責任を感じている。

補正予算

令和2年度一般会計補正予算第7号について

説明 令和2年度一般会計の歳入歳出予算の総額にそれぞれ7億6,469万7千円を追加し、総額133億2,857万8千円とするもの。新型コロナウイルス感染症対策に伴う、避難所等備品・備蓄品整備事業、インフラエンジニア防接種費用特別助成事業、新しい生活様式対応事業者応援交付金、3密対策設備導入支援事業、特別出産給付金、小中学校特別教室エアコン設置工事、牧場公園大型遊具設置支援、町内温泉・観光地無料券発行、ワーケーション推進事業等による増額。

障がい者就労支援業務
Q 対象事業所と業務内容は。

A 町内にある就労継続支援事業B型事業所3カ所が対象。コロナ禍で事業所の仕事が減っている。町道・公共施設・観光施設などの維持管理を委託したい。施設は現在取りまとめ中である。

候補地選定業務

Q 常任委員会でも否決され、この補正予算から除かれたが、今後どうするのか。

A 委員会では、既に結論が出た現在地も対象としたため、方針に沿っていないと否決された。20カ所の候補地から3カ所に絞る中で、メリット・デメリットを考慮し、来年度の当初予算に計上したい。

Q 令和3年度に取組み、完成はいつになるのか。今の子どもも大切だ。

A 予算が成立しても設計等に時間がかかる。目の前の子ども達に最大限の安全・安心な環境が作れるよう全力で取り組む。

農業者と学生支援

Q 第2弾の農産物等利用促進事業、第1弾の申請が少なく苦戦しているのに、想定する学生全員分の予算を組むのか。国の交付金が財源とはいえ、積算はすべきだ。

A 申請数が上がらないのは事実。第1弾の期限10月末までPRに努める。予算の積算については、御意見のとおり。

高性能森林施策機械導入事業補助金

Q 北但西部森林組合が重機を導入するため補助であるが、同様の重機は所有していないのか。

A 既に所有している。

Q 木材価格とコロナ禍に関係があるのか。

A 新型コロナ収束後速やかに生産活動が再開できることを目的としている。

道の駅の駐車場整備

Q 今後、浜坂道路高架下を駐車場として活用するため、周辺地購入に向けた不動産鑑定料とのことだが、高架下の利用は駐車場限定か。

A 駐車場協議している。



道の駅の魅力向上が求められる

Q 浜坂道路開通後に、道の駅に立ち寄っても

らうためには、魅力向上が必要だ。高架下に遊具を置いてはどうか。

A 道路の点検のため必要なスペースでもある。駐車場で調整している。

ワーケーション推進

Q ワーケーションとは何か。

A 働くワークとバケーションを合わせた造語。自然豊かな良い環境で、仕事をする。コロナ禍で企業も注目している。

ログハウスカナダ・メイプルセンター改修

Q ログハウスとして使っていくには、使用料等条例改正が必要ではないか。

A 当面は試行期間としたい。条例の整理は検討していく。

おんせん天国カフェ

Q おんせん天国カフェとワーケーションの住み分けは。

A 飲食スペースの一部を時間貸しする。

Q おんせん天国カフェ運営協議会とは何か。この協議会が経営するのか。地域おこし協力隊が経営するのか。

A まちなみ景観事業から、空き店舗対策として、地域住民が立ち上げた団体。会長は湯区長であり、湯区役員・町内会長は事業を了解している。カフェへの従事は地域おこし協力隊員である。

Q 本町の協力隊員は、会計年度任用職員という公務員。協力隊の活動事業を団体に委託するとはいえ、カフェの営業ができるのか。委託内容の整理が必要だ。

A 協力隊員の身分は、自治体により様々。本町では会計年度任用職員の形をとっている。身分・委託内容も含めて、今後、整理が必要と考えている。

令和元年度一般会計補正予算（第7号）

修正動議

阪本晴良 議員

湯区・湯村温泉商店街振興会が推薦する方々と地域おこし協力隊メンバーの「おんせん天国カフェ運営協議会」が、運営する店舗改装等に支出する補助金550万円を減額する。

理由

空き店舗対策に異を唱えるものではないが、補助金のほかに、家賃や光熱水費・保険料など今年度に400万円の運営費も委託料として助成する内容であり、さらに町が報酬を支払う地域おこし協力隊員2人がカフェに従事し、またこの利益は同協議会の収入とすることなど、税金の活用としては、公平・平等性に欠けるため、検討すべきである。

反対討論

森田善幸 議員

おんせん天国カフェの改装費を削除する修正案に反対し、原案を支持する。

昨年度よりおんせん天国室の事業で、地域住民の有志の会で町づくりの案がまとめられた。その一つが空き店舗を利用した住民の交流ができるカフェである。運営は地域団体が行い、地域おこし協力隊の将来への移住・起業への研修の場にもなる。またコロナ後の観光地の生き残り戦略として、ワーケーションの提供の場の役割も担う。地域おこし協力隊の二人の夢を応援し、住民の願いと町外企業との交流を推進し、夢のある町づくりを進めるべき。

賛成討論

谷口 功 議員

「空き店舗の解消事業」に反対するものではない。ここで、事業のあり方をしっかりと見直し、整理すべきだ。空き店舗は数多くあり、どこまで何年計画で行うのか。その費用は100%公費で行うのか。もう一つは、そこで生まれた利益をどのように扱うのか。100%公費負担の事業で公務員の身分である地域おこし協力隊員が働いて生まれた利益を、直接協議会に入れることに問題はないのか。

いずれも未整理のまま、この事業を進めることには無理がある。よって、修正案に賛成する。

賛成8・反対7で修正可決。その他の補正予算は全て可決した。詳細は下の表のとおり。

令和2年9月補正予算（一般会計 特別会計 企業会計）

（単位：千円）

会 計 名	補 正 額	補正後予算額
一 般 会 計	759,197	13,323,078
特 別 会 計	事 業 勘 定	1,497,025
	国民健康保険	24,000
	照 来 診 療 所	17,750
	八 田 診 療 所	57,330
	後 期 高 齢 者 医 療	231,995
	介 護 保 険 事 業	1,851,702
	浜 坂 地 区 残 土 処 分 場 事 業	231,694
	温 泉 地 区 残 土 処 分 場 事 業	47,338
公 営 企 業 会 計 (支 出)	七 釜 温 泉 配 湯 事 業	10,965
	水 道 事 業	749,305
	公 立 浜 坂 病 院 事 業	1,782,484

ずばり！ 町政を問う

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営が進められているか点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を作成し掲載しています。

新温泉町のホームページでは、一般質問の動画を配信しています。



頁	質問者及び質問事項	頁	質問者及び質問事項
11	竹内 敬一郎 ①新型コロナウイルス感染不安払拭に何が必要か【掲載】 ②人権侵害は許さない【掲載】 ③小中学校でストレスを学ぶ授業が必要なのでは【掲載】 ④中学校にスマホの持ち込みは認めるのか【掲載】 ⑤地方創生臨時交付金で新生児にお祝い金を	18	平澤 剛太 ①地域経済の現状【掲載】 ②介護事業者を守る取組み【掲載】 ③防災計画と事業継続計画【掲載】
12	河越 忠志 ①浜坂認定こども園の整備方針の決定方法について【掲載】 ②この地域における感染症対応体制について ③地域づくり活動支援策について ④町としての公共調達のあり方について	19	重本 静男 ①町長の町政運営について【掲載】 ②学校教育について【掲載】 ③いじめ・不登校について
13	森田 善幸 ①新型コロナ緊急経済対策の途中経過の実績と今後の見通しを問う【掲載】 ②本年度の普通交付税の本町への算定額について問う ③本年度のふるさと納税の本町への動向とその用途について問う ④新型コロナへの恐怖心もたらす経済・社会問題	20	太田 昭宏 ①ふるさと納税の取組みについて【掲載】 ②地域活性化について【掲載】 ③新型コロナウイルス感染拡大防止に対する支援事業について ④新温泉町の教育の現状と今後について【掲載】
14	中村 茂 ①風水害等防災対策の推進【掲載】 ②洪水浸水想定区域図等の活用【掲載】 ③防災組織の活性化と防災訓練のあり方	21	浜田 直子 ①自然環境の保持と鳥獣被害対策の充実を図るには【掲載】 ②ペット愛護について【掲載】 ③新型コロナ対応での移動手段と通学路の安全確保について【掲載】 ④個人情報について【掲載】
15	阪本 晴良 ①鳥獣被害対策について【掲載】 ②コロナ感染症対策について【掲載】 ③財政運営について	22	谷口 功 ①アジア・太平洋戦争敗戦と被爆から75年の年、平和と核兵器廃絶への対応を問う【掲載】 ②新型コロナウイルス感染症の感染が全国的に拡大し、不安が広がっている、対応策を問う【掲載】 ③秋の台風シーズンが来るが、備えは万全か【掲載】 ④浜坂認定こども園改築計画はどうなっているか【掲載】
16	宮本 泰男 ①自然災害防災対策について【掲載】 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について【掲載】	23	中井 次郎 ①学校のコロナ対策【掲載】 ②おんせん天国室の実績と課題【掲載】 ③1000分の1のハザードマップ【掲載】 ④浜坂認定こども園の用地について
17	池田 宜広 ①財政運営の今後について【掲載】 ②認定こども園の今後の方向性は【掲載】		

※質問は通告受け付け順に掲載しています。
【掲載】は記事にした質問事項です。



竹内敬一郎 議員



コロナ禍の人権侵害は、やめよう

町長 本町は人権宣言の町である

新型コロナウイルス 感染不安の払拭を

問 町長は濃厚接触者の該当者として、PCR検査を受けたが心境を問う。

町長 周囲には心配をかけた。陰性であったが、2週間の自宅待機が必要とされ、自宅で公務を行った。職員は緊急時における素早い対応に感謝している。

問 国・世界は、優先課題を軍事的安全保障から人間の安全保障へ

と転換し、徹底すべきと思うがどうか。

町長 世界の指導者は、軍事にお金をかけず、人の命を大切にすると第一主義に力を入れるべきと考える。

問 住民が恐怖と不安を払拭するには、何が必要と思うか。

町長 ワクチンができるまでは、3密を避け、新しい生活様式を徹底することが大事と思う。

人権侵害は許さない

問 姫路ナンバー自動車への嫌がらせ防止対策として、「麒麟のまち」の言葉・獅子頭がデザインされた貼り付けるステッカーを配布したが、その効果は。

町長 鳥取は、生活圏

である。ステッカーの効果は絶大だと思っ

問 コロナによって、人権侵害が全国的に広がっている。現状に屈するのではなく、許さないという強い気持ち

が大事と思うがどうか。

町長 本町は人権宣言

の町であり、思いやりの気持ちを持つことが大事である。

問 人権学習会のテーマにコロナ感染による人権侵害を取り上げる予定は。

生涯教育課長 できる限り啓発、学習会を進めていく。

小・中学校はストレス授業が必要

問 2学期が始まった

が、子ども達の変化の実態は。

教育長 コロナに対する不安感が大きくなっており、大変、緊張感のある中で、学校生活を送っている。

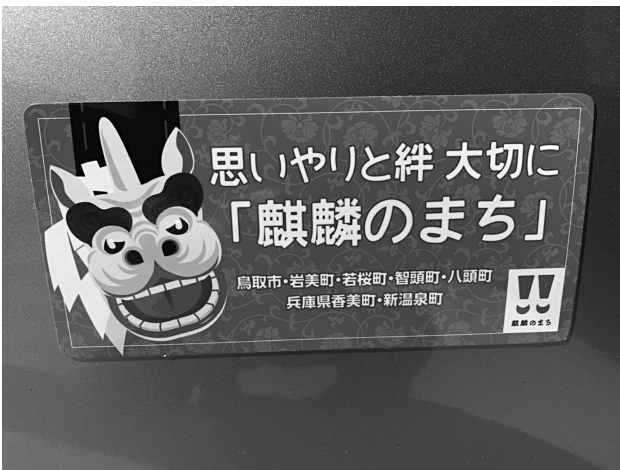
問 長期のコロナ禍で、不安や恐怖を和らげる教育が必要である。ストレス授業は行っているか。

教育長 年に2回程度やっているが、今後は回数を増やすべきと考えている。

中学校に携帯電話を持ち込めるか

問 文部科学省は、中学校への携帯電話の持ち込みを条件付きで認める方針だが、本町の方針はどうか。

教育長 メリット・デメリットを吟味し、今、検討しているところである。



麒麟のまち（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町、香美町の1市6町）で形成する経済生活圏

浜坂認定こども園整備方針決定の方策は

町長 3カ所程度の候補地を選定し、議論したい



河越 忠志 議員



整備方針決定への方策は

問 浜坂認定こども園の整備に関して、検討委員会の答申を受けての町当局が提案した案は、議会の賛同が得られなかった。今後、住民が納得し、議会同意が得られる方針をどう提案するつもりか。

町長 これまで、関係予算が2度否決された。最適候補地の選定には、様々な要因があり、決定は容易ではない。5月には1,000年に一度の浸水想定も公表されたことから、浜坂

認定こども園の建替は、これまでの経過を踏まえた上で、改めて、3カ所程度の候補地を客観的、また、技術的な視点から選定したい。その後、子ども達が安心・安全に園生活を送れるような整備に向けて、住民と議会の賛同が得られる提案ができるよう早期に検討・協議を進めたい。

問 どんな提案であっても、議会の賛同が得られなければ、事業の推進はできない。また、議会も町民の意に反する判断を下すことは好ましくない。

そんな中で、浜坂地域の認定こども園や保育園環境は、非常に複雑な課題があると思う。そこで、次の提案をする。

それは、町当局と議会提案の中から、協議により、幾つかの提案に整理して、それらの説明会兼討論会を開催すること。

そこに各議員のそれぞれ同数の支援者（支援者団体）、例えば各議員について10名ずつを指名して出席してもらい、それらの案を順位評価してもらう。そして、1位になった候補地、或いは計画が過半数を得て、明らかに優位であれば、その提案を推進する。

それに該当する提案がなく、僅差であれば、1位から3位までに3点、2点、1点の配点

をし、合計点で上位2位を選び、それを各議員の支援者に改めて投票してもらおう。それにより、明らかな評価が下される。民意も反映される。

万一、各議員のそれぞれの支援者の中で、その結果と異なった評価となった支援者団体

があれば、その議員は支援者と相談をした上で、結果に反対の立場が取れる。それにより、着実な推進ができるのではないか。

町長 町当局と議会の考え方が、かみ合わなかった中での打開策の一つだと思う。検討はする。



整備が急がれる浜坂認定こども園



森田 善幸 議員



げんき券・プレミアム飲食券で町内経済循環を

町長 PR方法のさらなる充実を図っていききたい

コロナ対策のげんき券・飲食券の現状は

問 町民対象の町内の旅館・民宿への宿泊等を推進する新温泉町げんき券と、プレミアム飲食券の直近の実績は。

町長 8月25日で、げんき券は1,001枚申請。全体の14.1%。プレミアム飲食券の販売数は2,139セット。全体の16.5%といずれも低い。**問** 低い販売率の原因をどう考えているか。

町長 大都市圏で感染者が増え、宿泊・飲食への安心感が十分でないという考え。

問 コロナで観光客が入っていない状況では、町内で経済を循環させることが重要であり、あらゆる手段でPRす

べき。ケーブルテレビ、広報、ホームページ等でPRされているが、それでも申請や販売が少ない。行政無線や区

長・町内会長にPRの依頼をする。様々な町内の団体への利用促進の依頼も必要ではない



町外からの来町者が少ない中で、プレミアム商品券等を活用し町内の経済循環を活発化することが重要

か。

町長 地域内の経済循環を活発にするためにも、PRの方法をさらに充実させたい。

執行残で新たな支援を

問 第1次産業の方も、商工会の持続化給付金、キャラバンを活用して申請されたと聞いています。観光関連のコロナ対策プロジェクトチームが商工観光課と企画課、おんせん天国室で結成されたが、農林水産課も入って、産業全体としてコロナ経済対策を考えていくべきと思うが。

町長 いい提案だと思ふ。今後、検討する。**問** 商工観光業へのコロナ対策支援の執行残が、現状4000万円近くある。コロナ対策の地方創生臨時交付金の残も約1億2,000万円ある。

これらの一部を原資として、数か月にわたって3割以上売上減でも国の持続化給付金の対象外となる、第1次産業を含めた事業者を援助するための支援事業を策定すべきだ。

前回も同様な質問すると、これまで行き渡ってない方々に対しても支援が十分にいき届くように考えていくとのこと。今回の補正予算をみると、そういった支援が見られない。雇用を守る意味でも、今後は一律ではなく、影響の度合いや雇用規模に応じた支援事業を行うべき。

町長 実態に即した、きめの細かい対策を指して、町の財政力でできる範囲内でやりたいが、国の支援がなければ、町単独では難しい面もある。今後の交付金の執行を見ながら検討したい。

本町の風水害等対策計画の災害想定は

町長 台風19号(平成2年)と類似規模の災害



中村 茂 議員



問 本日9月1日は「防災の日」。本年5月には岸田川水系における洪水浸水想定区域図等が公表された。平成27年4月修正の防災計画書が手元にある。5年経過したがその後の主な修正内容は、有事を想定し、可視化された物が必要と思える。再発行しないのか。これも危機管理と思う。

町長 大きな修正は、避難準備情報の名称、避難判断水位及び氾濫危険水位、要配慮者利用施設、津波災害想定、災害救助基準の各変更や防災情報提供の追記

災害想定は台風19号

問 災害の備えとして町地域防災計画、風水害等対策計画がある。本町の風水害等対策計画の災害想定はどこを視点にしているのか。

町長 災害想定は、過去の災害事例を踏まえ、当町に大きな被害をもたらした平成2年の台風19号と類似規模の災害を想定している。
問 台風19号は但馬に甚大な被害があり、特

に浜坂地域に大きな被害をもたらした。降水量や被害実績はどの程度だったのか。

町長 旧浜坂町については、総雨量313ミリ、人的被害は死亡が1名、負傷者が1名、家屋の被害が一部損壊3世帯、床上浸水181世帯、床下浸水

447世帯、旧温泉町は、総雨量403.5ミリ、人的被害等は特

定最大規模の降雨(518ミリ/24時間)
問 本年5月29日に兵庫県から岸田川水系等の想定最大規模の降雨

(518ミリ/24時間)による洪水浸水想定区域図等が公表された。防災計画の視点から現計画との整合性や内容点検はされたか。

町長 現在、浸水区域等に位置する要介護者利用施設、指定緊急避難場所の記載など、防災計画の見直しを行う予定である。



災害は忘れた頃にやってくる。しかし、近年は豪雨等、自然災害が頻繁に発生している。備えは大丈夫か。

問 町では、浜坂認定こども園を現在地に建て替える提案がされている。今回の公表で、同地は明確に2メートルから8メートルの浸水地域として発表された。防災担当課として現在地の建て替えについてどのような意見か。
町民安全課長 担当課としては、洪水想定を受けて、そういうリスクのある土地ということとを資料として示している。



阪本 晴良 議員



シカの捕獲目標が39%と低くすぎるが

町長 捕獲従事者、檻のあり方、捕獲方法の底上げが必要

獣害対策の強化を

問 県は、イノシシの捕獲目標を個体変動が多いため設定していない。シカの年間目標を2,053頭としている。本町の3カ年計画は、令和2年度は目標の39%で800頭、3年度950頭、4年度1,100頭である。一方、香美町は、目標4,681頭に対し17%の5,517頭である。本町の目標に

対し、どういう認識か。
町長 捕獲班には尽力してもらっているが、香美町と比べると、わが町は目標が低い。現状確認し、捕獲に力を入れ、被害を少なくする施策を打ちたい。

問 県の目標達成のためには、何が足りないかと考えているか。
町長 課題は、捕獲の従事者、捕獲の方法、捕獲檻のあり方の3点であり、力を入れる必要があると思う。



移動式捕獲檻に入ったシカ

問 どのような方法を考えているか。
町長 集落により、捕獲檻が設置されていない区と、10基も設置している区と差がある。檻の導入を踏まえ捕獲班、集落との調整、技術の向上、県の捕獲班との連携を密にして捕獲の推進を図りたい。
問 塩山に設置した鳥獣処理施設は、昨年10月の運営から半年分の報告があったが、どのような評価をしているか。
町長 年1,200頭を処理目標としたが、半年で捕獲した451頭のうち、102頭しか搬入がなかった。利用率の低さと地域差がある。今後、受入日、受入時間の見直しを検討する。施設面では、大型プレハブ冷蔵庫が必要と考えている。

げんき券、食事券の使用期限延長を
問 げんき券、食事券の取り扱い開始時期に、町内で、新型コロナウイルスの濃厚接触者が出て、仕方ないとはいえ、事業の出鼻をくじかれた。事業が、低調であれば、使用できる期間を延長したらどうか。
町長 開始1か月間で16%ほど、大変低調だと思うが、早く使うことが事業者も楽になり、また、途中変更は難しいと考える。
問 臨時交付金は、国の借金で賄っている。多くは給付金として個人と事業主に交付されているが、この際社会資本整備にも活用してはどうか。
町長 ワークेशन事業としてログハウスカナダを改修し、働く場を作っていきたい。

土砂災害避難場所を早急に整備すべき

町長 現場確認し再検討がいる



宮本 泰男 議員



新温泉町には土砂災害発生恐れがある箇所が沢山ある

問 我が町の地勢を見ると山間部が80%を占めている。急傾斜崩壊危険箇所は何力所あるか。

建設課長 県の調査では土砂災害特別警戒区域は496力所ある。そのうち急傾斜地42カ所、土石流の箇所は70力所ある。

問 危険箇所の点検整備状況を伺う。

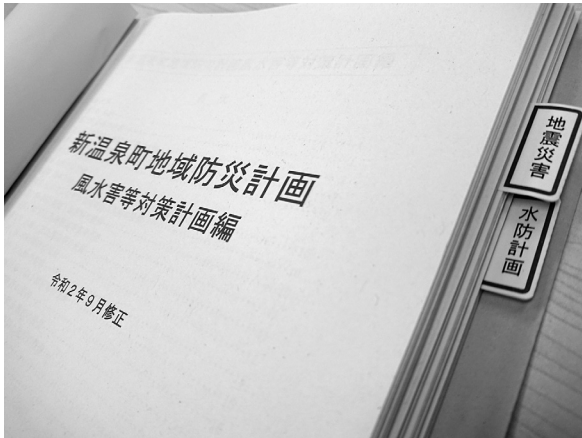
建設課長 10カ所が工事中である。定期的巡回、大雨、台風後には巡回点検している。

問 山裾、谷あい、急

傾斜地にある住宅の防災減災対策を伺う。

町民安全課長 防災計画には、土砂災害の危険のある避難場所に、避難すべきでないことを示してある。

問 防災基本計画には



避難場所の見直しが必要だ

避難場所は133カ所あり、そのうち土砂災害に不適切な場所が73カ所（浜坂地域24・温泉地域49）と非常に多い。早急に整備すべきである。

町長 現場確認、区長・関係者と相談し再検討が必要である。

負けるなコロナ、恐れるなコロナ、入れるなコロナ

問 町長が新型コロナ

ウイルス感染の濃厚接触者とされ、検査を受けた。結果は陰性で、自宅待機となった。本人はもとより町民もホッとしている。心境を伺う。

町長 想定外の事態だった。新型コロナウィルス感染症が、すぐそこに来ていると非常に危機感を持った。職員、町民の方々に感謝している。職員には、公務に支障はないようにと尽力していた。だいた

問 町内の感染者、受診者、受検者を把握しているか伺う。

町長 豊岡健康福祉事務所が管内の情報の全てを管理しており、町には一切報告がない。

アフターコロナ対策

問 アフターコロナ対策について伺う。

町長 新型コロナウィルスの発生によって、

今までの常識は通用しない時代になるのではないかと思う。コロナで、タッチレス・ソーシャルディスタンス・リモート化・テレワーク、個人の働き方や暮らし方も大きく変わる。時代の流れを町政運営に生かしていく必要性がある。

問 町内業者で、旅館・民宿・飲食業・病院医療介護福祉関係・大型店舗・学校等3密が防げない施設が安心安全に働くための具体策はあるか伺う。

町長 約150の施設がある。消毒、換気頻度、座席数、配置等感染拡大予防ガイドランスが策定されて取組んでいる。

問 コロナ感染を防ぐスローガンは。

副町長 「あなたとあなたの大切な人の命を守るために」と訴えている。



池田 宜広 議員



わが町の財調基金（貯金）は妥当か

町長 適正な基金は一言では言えない

財政調整基金約17億円は妥当か

問 各市町、それぞれの特徴で行財政運営をしている。基金に至っては、それぞれに大きく差がある。我が町の自主財源の現状からみて現在の基金残高は妥当か。

町長 将来への投資が幾ら必要か、また、老朽化施設の維持など色々な観点から考える必要がある。一概に幾らが妥当かは言えない。

問 概ね地方の市町は全国から見てみると標準財政規模の約20%、都道府県及び政令指定都市は約5%程度が標準だが、我が町の自主財源、微増微減はあるが、飛躍的に伸びることは想像しにくい。不測の事態に備え基金を積み上げるべきだ。

町長 それぞれの市町の状況があると思う。問題は基金を何に使うか、どう使うかが基本だと考える。

問 基金の用途は積み上げがあるからこそ考えられる。将来へ繋ぐ基金も必要と考えるが、

町長 基金があるにこしたことはない。どう活用するかの視点が必要だ。

目的基金の創設 考えは無いか

問 緊急災害対策基金・公共建物改修基金・新庁舎建設基金など各目的に沿った基金創設の考えはないか。

町長 現時点では考えていないが、将来を見越した基金は当然必要になると思っている。

縮減傾向にある地方交付税の対策は

問 今後、段階的に縮減される地方交付税、今後の対策は何かあるのか。

町長 段階的な縮減は今年度で終わる。

問 国の財政状況を勘案すると、縮減傾向になると思われるが。

町長 仮に交付税が減っても、ふるさと納税で自主財源を賄う。

問 ふるさと納税制度は、現行の制度である。恒久的財源ではない。

町長 常にそういう意識は持つ必要がある。

浜坂認定こども園 移転改築場所は

問 3カ所に絞ったとの答弁だが、何処か。

町長 委員会をもって報告をしたいと思う。

問 命は大切。便利より安全を重視し、場所決定をすべきだ。

町長 多角的な考えで総合的に判断する。



安心して、ぐっすり眠れるお昼寝時間

町として、浜坂駅前への位置づけを示せ

町長 浜坂駅は町の顔。将来の商店街のあり方も含めて重要な問題だ



平澤 剛太 議員



事業者数を維持するために

問 事業者の減少は地域経済の衰退につながる。コロナ禍でも新規事業者の開拓が必要だ。

町長 観光客も大幅減。支援の効果が早く出るよう力を入れていく。

問 高齢化の進む中、新規が増えないと事業者数が増えることはない。

町長 起業には不安やリスクが伴う。アドバイザーによる相談事業、各種支援策を町全体でPRしていく。

浜坂駅前の方向性は

問 県事業の道路改修、



空き店舗の積極的活用など、人の流れが生まれる方向性が必要

町長 駅前駐車場整備だけでなく、空き店舗を活用し、人の流れを作り出す取り組みが必要だ。地域の意見を活

かし、活性化につなげる。

問 意見をもらうにしても、あり方を示さない方向性がまともでない。

町長 将来の商店のあり方も念頭に、見直していきたい。

問 居住していない住居兼店舗を洗い出し、空き家バンクに登録を。

町長 問い合わせも増

えている。的確に紹介していきたい。

介護事業者への支援体制

問 小規模な介護事業所は、コロナ禍での休校・休園、感染者等が出た場合の影響が大きい。法人同士の協力体制が必要だ。

町長 まず同一法人内で対応、同種のサービス事業者間で協力体制をお願いしたい。

問 現状は、まだということか。

健康福祉課長 今のところできていない。

問 社会福祉法人の連絡協議会に、調整できる体制作りを投げかけては。

町長 働きかけていきたい。

災害後の復旧計画

問 民間企業は事業継続計画に取り組み始め

た。被災後に素早く事業再開する取組みだ。ライフライン復旧に向けた体制はできているか。

町長 業種によっては協定を結んでいる。また、各事業者と調整もしている。

問 事業者も被災するという認識があるか。

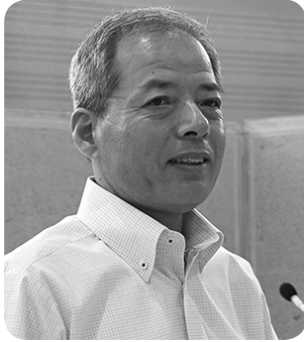
町長 ご指摘のとおりだ。他地域との連携も必要となる。その点も踏まえていきたい。

問 公共施設が被災した場合、復旧に向けたマニュアルは。

町長 必要だと思う。

問 事業継続計画では、災害リスクが少ない場所への移転を検討するケースもある。この視点が町にも必要だ。

町長 災害はいつでも起こる。近年多発しているのも事実。色んなデータを基に検討していきたい。



重本 静男 議員



おんせん天国室設置の成果は

町長 『チーム新・湯治』との繋がりで日本の名湯百選認定と環境大臣賞の受賞

町長の町政運営について

問 町長就任当初から温泉の付く町として、その名にふさわしい町づくりを掲げ「おんせん天国室」を設置した。その成果は。

町長 町名のPRと活性化に繋がる施策の検討や情報収集で環境大臣賞など受賞。ワーケーションなどの立ち上げで、都会から田舎への流れが変わりつつ

ある。

問 温泉を観光・健康・省エネ・農業への利用促進の具体策は。

町長 温泉利用のメキは観光。健康で長生きは町民の一番大事なこと。バイナリー発電で電力の地産地消を将



成果が出始めたおんせん天国室

来的には考える。捨てている温泉を活用した取組みでハウス栽培や、漁業の利用方法をいろいろ考えたい。

問 地域資源の温泉熱を利用した環境配慮型の農業にも目を向けるべき。

町長 湯財産区の判断もいるが、地域農業の発展、お湯の利用を含めて温泉エリアの拡大を考えている。

問 新型コロナウイルス感染症の収束に向けての抱負は。

町長 濃厚接触者となり、誰でも感染する恐れがあることを、身をもって感じた。三つの密を避け、マスク着用、手洗いを徹底する。

問 公立浜坂病院の将来性は。

町長 住民の命と健康を絶対を守る必要がある。その思いで取り組んでいる。

学校教育について

問 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、休校した授業時間の遅れを、今後どのように取り戻すのか。

教育長 6月1日に学

校再開してからは、各学校で授業時数の確保に努めている。一学期が終了した時点で、ほぼ予定された確保が図られていることを確認した。

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した対策は。

町長 学校における感染拡大防止は、教育長をはじめ、校長も先頭に立って取り組んでいる。

教育長 学校の中で感染防止は、三つの基本があり、身体的距離、マスクの着用、手洗いを徹底しながら教育活動を行っている。

問 コミュニティスクールの導入の予定は。

教育長 社会に開かれた教育課程がキーワードとして求められており、来年度から照来小学校と浜坂南小学校をモデル校に指定して実施する。

小さな縁を積み重ねれば、大きな運になる

町長 一步先、二歩先のつながりを大事にしたい



太田 昭宏 議員



ふるさと納税について

問 ふるさとを離れても、ふるさとに貢献できる形として、ふるさと納税が導入された。ふるさと納税について、どう考えるか。

町長 町の活性化につながる有効な制度として捉えている。

問 返礼品競争について、どう思うか。

町長 過度な返礼品ではなく、町の持っている力を知って欲しい。

問 寄附の用途で選ぶ人が増えている。ホームページ等で、用途の報告が必要ではないか。

町長 丁寧に報告する。小さな縁を積み重

ねれば、大きな運になり、チャンスになる。

町長 つながりを持つ。声をかける。お礼を言う。一步先、二歩先をにらんだ、つながりを大事にしたい。

地域活性化について

問 日和山公園を訪れる人が増えている。安全のため、手すりの設置が必要である。

町長 様々な課題があるが、一つひとつ解決していきたい。

問 整備されれば、霧ヶ滝、北前船寄港地、1泊2日の周遊コースができる。

町長 自然と食、温泉

を組み合わせたツアーコースは、一層の活性化につながる。

問 旧温泉高校の体育館を、サブイバルゲームの会場やボルダリングスペースとして活用できないか。町民のアイデアを聞く場はあるのか。

町長 体育館の使用は、老朽化のため極めて難しい。企画課を中心に

各課長が先頭に立ってアンテナを張っている。

今後の教育について

問 コロナ感染者に対する、誹謗、中傷など、様々な情報が子供たちに入っている。感染者は悪くないことを徹底する必要はある。

教育長 自分のこと、相手のことがしつかり

と考えられるよう、人權教育を更に深める。

問 タブレットの活用は、職員に共通理解されているのか。

教育長 タブレットを活用した授業づくりの研修、インスタグラムによる操作等の研修を行う予定である。

問 県内の小・中学生の数が過去最少である。本町でも近い将来、中学校1校、小学校2校の規模の子どもの数になる。統合を繰り返すのではなく、小中一貫校、中高一貫校など、危機を乗り越える具体的な検討が組織として必要ではないか。

教育長 統廃合によらないで課題解決をしている地域がある。地域の中で子どもたちがともに育つよう、組織として考えていく。

問 ふるさと意識を醸成するためには

教育長 地域のよさを、しっかりと体験させる。



日和山公園から沖を見る



浜田 直子 議員



当町は貴重な自然の宝庫、農産物と共に鳥獣被害から守るには

町長 県・民間団体・上山エコ等連携を深めながら守っていく

自然環境の保持と鳥獣被害対策の充実

問 近年の鳥獣の増加に伴い兵庫県最後の楽園と言われている上山高原、上山エリアの獣害被害から自然環境を守るには。

町長 イノシシ、シカの多い町だ。昨年、鳥獣の処理施設を作り捕獲に力を入れている。**問** 絶滅危惧種のキンチドリ・アオホオズキ・イッポンワラビ等をはじめ、多くの希少植物

が減少している。農作物に対しての対策も大切だが、現状はどうか。

町長 県自然環境課、民間団体、上山エコ等が、連携を深めながら守っていく。

問 町としての具体策と方向性は。環境保護室の設置を求める。

町長 観光と自然を守る山岳係を検討したい。**問** 町指定天然記念物ミツガシワ、絶滅危惧種バイカモなどの保護は。

町長 力を入れて保存していく。

問 海岸沿いの漂着物除去や、外来種動物の対策は。

町長 漁港は農林水産課が担当し、それ以外は町民安全課が担当。地域、ボランティア等

で清掃している。

ペット愛護について

問 民間保護団体だけでは飼い主のいない猫を保護するのは難しい。現状を把握し、活動を支援する必要がある。

町長 県の動物愛護センターから、指導を得

て検討したい。

問 避妊手術等をするための動物基金を受け、申請の協力と連携を。

町長 検討する。

コロナ対応での移動手段と通学路の安全確保は

問 PCR検査は、豊岡市まで行かないといけない。移動手段のない高齢者などは、発熱時に公共機関も使にくい状況だ。町として

の対応はどうか。

健康福祉課長 豊岡で検査を受けるための広域消防の救急車での対応は可能。濃厚接触者等の検査は、新温泉健康福祉事務所のできる体制をとるため検討されている。

問 小学生の徒歩通学について規定の距離内でも、現状として、安全面で心配な地域がある。毎日の迎えも負担である。配慮すべきだ。**教育長** 少子化で子どもも減っている。保護者の要望により有料でバス通学している地区もある。

個人情報について

問 守る情報は守り、守秘義務のある委員には、必要な情報を提供すべきでは。

町長 個人情報の扱いは、極めて慎重にしている。



氷河期の残存植物ミツガシワ（二日市長谷口）。2003年に発見され、保存会が守っている。昨今はシカの食害が増えている。

平和・核兵器廃絶のため具体的行動を

教育長 平和を祈るだけでなく具体的活動が大事



谷口 功 議員



必要なのは人間の意思

問 敗戦と被爆から75年、今年の広島平和記念式で子ども代表は、「人間の手によって造られた核兵器をなくすのに必要なのは、私たち人間の意思です。私たちの未来に核兵器は必要ありません」と訴えた。被爆者の平均年齢は83歳を超え、命を削るように核兵器廃絶のための被爆者国際署名を呼びかけている。なぜ核兵器廃絶が75年を経過しても実現できないのか、みんな考え、行動することが求められているのではないか。

町長 戦争と核兵器の悲惨さもよく分かる。言わなくても分っているような意思が国民にはある。行政のトップが被爆者国際署名を呼びかけることには躊躇がある。

コロナ感染再拡大に備えよ

問 コロナウイルス感染症の再拡大が全国的に広がっている、若く行動的な無症状感染者が増えており、感染拡大の不安を広げている。身近なところでのPCR検査体制の整備が喫緊の課題となっている。

町長 町内で検査が受



新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念される

けられるよう、県に要望していく。

問 インフルエンザ、肺炎との同時進行が心配されるが、対策を準備しているか。

町長 全町民向けインフルエンザ予防接種の助成を考えている。

自然災害の備えは万全か

問 今年の台風9号・

10号と勢力が異常に発達している。災害対策基本法、水防法に市町村と市町村長の責務が定められている。コロナ禍での対応策は万全か。

町長 想定以上の災害が各地で起きています。千分の一想定避難所も不足しているため、今後検討を進める。

浜坂認定こども園移転改築促進せよ

問 浜坂認定こども園の移転改築が提起されてから4年が経過する。憲法は、国民が生命の危険に脅かされることなく安全が保障され、安心して生活する権利を保障している。とりわけ、子どもは社会から保護されるべき存在であることは言うまでもない。子どもの権利条約第3条、児童福祉法は行政の責務を明確に規定している。これに照らして現状をどのように考えるか。

教育長 子どもは弱い立場、守られるべき存在の宝だ。子ども達の命を守ることは大前提だ。子どもが中心でなければならぬ。その方向で進めていきたい。



中井 次郎 議員



「学級定員を減らせ」の声を上げることが必要

町長 県教育委員会に要請している

学校のコロナ対策

問 夢が丘中学校は1年生が40人で1クラス。密を避けるどころか、教師が机の間を通るスペースもない。現場からも要望が出ているが、学級定員を減らすべきだ。

教育長 日頃からその必要性を感じている。コロナ対策としても必要だ。県の教育委員会に要請している。

問 学校で集団感染が

起きた場合、子供たちを誹謗中傷から守る対策が必要ではないか。

鳥取市立東中学校では、生徒・職員445人のPCR検査を直ちに行った。素早い対応が誹謗や中傷を生まない。

町長 集団感染に対するPCR検査については、県知事に申し入れをする。

おんせん天国室の実績と課題

問 おんせん天国室を作った目的は何か。事業が湯村に偏っていないか。

町長 あふれる温泉を利用した町づくりが目的だ。事業が偏っているとの指摘はある。

問 おんせん天国カフ

エ運営協議会とはどんな団体か。協議会が行う事業の内容を問う。

町長 空き店舗が増え、空洞化が進む湯村において、湯区や湯村温泉商店街振興会を中心に設立された。荒湯センターの2階を利用し、居場所づくり、ワークショップ誘致を行うものである。

問 その経費に税金が使われているのではないか。家賃はいくらか。いつオープンするのか。

企画課長 地域おこし協力隊が手伝っている。なので、税金が出ている。

町長 家賃は8万円。12月オープンだ。

問 カフェ協議会の構成団体を見れば、公私のけじめがつかない。この点を改善すべきだ。

1000分の1のハザードマップ

問 ハザードマップはどんな役割を果たすのか。

町長 自宅周辺のリスク、避難経路・避難先を確認するための物だ。

町長 今回のマップには入っていない。宇都野神社から浜まで1.7キロの長さだ。入っていないとすれば入れるべきではないか。

町長 24時間で518ミリの雨量が前提となっている。できるだけデータを取らため努力している。



JR山陰本線をくぐり流れる宮谷川。宇都野神社から浜まで1.7キロ

総務産建常任委員会

9月7・10日開会

農林水産課

農産物等販売促進活動支援事業

Q 問い合わせの件数と内容は。

A 販売イベント6件、出荷先登録が8件あり、前向きに計画している。

高性能森林施業機械導入事業

Q 目的と事業費は。

A コロナ禍において、今後の木材需要に対応するため、機械を導入し、北但西部森林組合を支援するもの。2/3を香美町と補助する。本町負担は9,019千円。

建設課

空き家対策

Q 空き家362戸の内訳は。

A 浜坂地域209戸、温泉地域153戸である。

Q 特定空き家とは。

A 保安、衛生、景観環境に影響のあるもの、町内で13件ある。

税務課

令和2年度町税等徴収実績

Q 入湯税の徴収率が大きく減少している。

A 廃業、コロナ禍で入込みが減少している。

牧場公園課

スキー場設備整備支援事業

Q 大型遊具、日陰棚の設置場所は。

A 既設の遊具の横あたり、日陰棚の屋根は藤を植える予定である。

商工観光課

新しい生活様式対応事業者応援交付金事業

Q 第1次産業も対象になるのか。

A 町内に事業所を有すれば、対象となる。

観光プロモーション事業

Q インバウンド多言語業務の内容は。

A 動画映像を4カ国語音声バージョンにするものである。

オンライン移住相談推進事業

Q 動画配信機器はどこに設置するのか。

A 商工観光課、会議室、サンシーホールを想定している。

道の駅駐車場整備に係る用地取得

Q 道の駅事業全体を

検証してから考えるべき。

A 企画課と検証して向かいたい。

企画課

おんせん天国室ワーケーション事業

Q ワーケーションは認知されているのか。

A 十分な議論ができていない、時期尚早だ。

A 昨年度から取り組んでいる。コロナ禍でテレワーク志向が高まり、新しい観光誘客の

スタイルとなる。おんせん天国カフェ事業

Q 事業主は誰か。収益はどうするのか。家賃、人件費が行政負担で、手法に問題がある。

A 運営協議会が主体となり、現場の責任者は地域おこし協力隊員である。

Q 空き店舗対策なら、浜坂地域も含めて方針を出すべきである。

A 中身を再度見直したい。

総務課

特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例

Q 処分の決定、事件の拡大調査は。

A 町長の意志により決定した。職員から聞き取りした結果、他に事例はなかった。今後、体質改善を図っていく。



但馬牧場公園に設置される大型遊具のイメージ

民生教育常任委員会

9月9日開会

いじめ教育課

一般会計補正予算

浜坂認定こども園整備
用地選定業務委託料

- Q** 整備検討委員会が検討してきた9カ所の中から選定し、他の候補地を加えるのか。
- A** 概ねその通りだが、追加候補地は公表できない。また、議会の意見課内での選定により3カ所に絞りたい。
- Q** 一般質問での町長答弁では、委員会で候補地3カ所を公表するという説明だったが。
- A** 今後の選定によるため、公表はできない。
- Q** 検討に加える候補地は何か所になるのか。
- A** 全候補地としては、20カ所程度を想定している。
- Q** コンサルタントによる比較検討の内容は。
- A** 様々な要素を比較し、概ね20カ所を3カ所程度に絞る業務となる予定である。

Q その後の選定は、どうするのか。

A 議会と協議することになる。

Q 比較検討項目の選定の理由は。園児の学びの環境の重要性はどうか。

A 立地環境も評価される。類似の前例を参考にする。

Q 選定において、用地取得の容易性に、相続関係は影響するか。

A 相続が複雑であることは、取得の容易性判断に影響はある。

Q 検討項目の重要度のウエイトは、誰が決めるのか。

A コンサルタントの客観的な視点である。

Q コンサルタント業務委託料の積算根拠は。

A 作業の積上げ、積算による。

Q 委託料予算は20カ所の業務が対象か。

A その通り。

Q 今までの議会の決

定への対応は。

A 議会の決定は尊重する。

Q 既に否の結論が出た場所も、再検討の対象か。

A 対象に入れていない。採決により、賛成2・反対5で委員会として了承せず。

生涯教育課

一般会計補正予算

購入物品について

Q パソコンをソフトと別立てで購入することと、節約できるので、節約できるのではないか。

A 購入方法を検討する。

Q 物品購入については、他課との連携による一括購入で、節約できるのではないか。

A 今後、調整を進めたい。

町民安全課

【報告事項】

総合防災訓練について

Q 密にならないか。また、チェックリストは回収するのか。

A 密にならない工夫をする。また、チェックリストは自己点検用とし、回収しない。

Q 防災計画の見直しの内容は。

A 千分の一想定の大降雨を考慮した見直しである。

【協議事項】

一般会計補正予算

Q 防犯用電話装置について、購入台数は足りるのか。

A 在庫もあり、足りる予定だ。不足すれば、追加対応する。

公立浜坂病院

病院事業会計補正予算

Q オンライン面会設備は国の補助対象か。また、ささゆりは介護報酬の特例を適用しているか。

A 補助対象になる。介護報酬は利用者の了解を得て適用している。

健康福祉課

【報告事項】

PCR検査体制について

Q 今後のPCR検査の体制はどうなるか。

A 新温泉健康福祉事務所でも、必要により豊岡から出張対応する体制ができる予定だ。



昨年の総合防災訓練。今年は工夫が必要

人事案件

● 教育長

西村 松代 (伊角)
任期は、令和2年11月29日から3年間

● 教育委員会委員

阪本 恭子 (湯)
任期は、令和2年11月29日から4年間

● 農業委員会委員

村尾 賢一 (飯野)
田中 充 (諸寄)
小谷 正美 (栃谷)
西脇 毅 (千谷)
山本 清 (赤崎)
橋本 哲次 (和田)
岸根 利幸 (多子)
田中 定美 (和田)
中村 真一 (春来)
松本けい子 (井土)
池成 昇 (前)

● 人権擁護委員

井上 諭 (飯野)
任期は、令和3年1月1日から3年間

● 固定資産評価審査委員会委員

平田 清己 (諸寄)
中田 雄久 (三谷)
長谷坂盛之 (桐岡)
任期は、令和2年11月24日から3年間

請願書・意見書

● 地方財政の充実・強化を求める意見書の採択について
【請願を採択し、意見書として可決】

● 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
【可決】

● ふるさと納税による寄付で個別の地域活動を支援できる仕組みの創設に係る請願について
【不採択】

賛成討論

ふるさと納税による寄付で個別の地域活動を支援できる仕組みの創設に係る請願について

河越 忠志 議員
これまで、集落の振興、協働組織の運営等の地域活動により、我が町は大きな活気を得てきた。我が町が復活するために地域活動への支援制度が必要だ。

ふるさと納税による寄付で、個別の地域活動を直接支援できるようにすることは、寄付の目的意識を高め、新たな財源確保につながる。町財政への負担は生じない。更に、我が町が多くの方々との関係性が深められることに大きな意義がある。

第103回定例会 議案採決一覧表 (R2.9)

Table with columns for 議員名 (1-16), 議案名, and 採決 (賛成/反対/採決). Rows include items like 'ふるさと納税による寄付で個別の地域活動を支援できる仕組みの創設にかかる請願について' and '令和元年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について'.

○は賛成、×は反対、-は議長職のため採決に加わらない。(全員賛成議案と人事案は省略)

議会日誌

7月
2日 議会広報調査特別委員会
10日 議会広報調査特別委員会
14日 兵庫県町議会議長会評議員会議・定期総会《神戸市》
16日 美方郡町議会連絡協議会 監査・総会
17日 兵庫県町議会議長会一期議員研修会《神戸市》
20日 総務産建常任委員会
21日 民生教育常任委員会
但馬広域行政事務組合議会定例会《豊岡市》
8月
19日 兵庫県町議会議長会議長会 広報研修会《神戸市》
27日 議会運営委員会
9月
1日~30日 第103回新温泉町定例会
2日 全員協議会
3日 議会運営委員会
3日 議会広報調査特別委員会
7日 総務産建常任委員会
9日 民生教育常任委員会
10日 総務産建常任委員会
14日 議会運営委員会
14日 民生教育常任委員会
16日 民生教育常任委員会
17日 決算特別委員会
28日 第100回新温泉町議会記念講演
議会運営委員会

令和2年9月 第103回定例会 議案等一覧表

発案番号	件 名	発案番号	件 名
請願第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択の要請について	議案第89号	令和2年度新温泉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
請願第3~18号	ふるさと納税による寄付で個別の地域活動を支援できる仕組みの創設にかかる請願について	議案第90号	令和2年度新温泉町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について
報告第5号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	議案第91号	令和2年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計補正予算(第2号)について
報告第6号	専決処分の報告について	議案第92号	令和2年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計補正予算(第2号)について
議案第69号	新温泉町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定について	議案第93号	令和2年度新温泉町七釜温泉配湯事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第70号	教育長の任命同意について	議案第94号	令和2年度新温泉町水道事業会計補正予算(第3号)について
議案第71号	教育委員会委員の任命同意について	議案第95号	令和2年度新温泉町公立浜坂病院事業会計補正予算(第2号)について
議案第72号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	議案第96号	令和2年度新温泉町一般会計補正予算(第7号)について
議案第73号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	議案第97号	農業委員会委員の任命同意について
議案第74号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	認定第1号	令和元年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について
議案第75号	農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	認定第2号	令和元年度新温泉町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第76号	農業委員会委員の任命同意について	認定第3号	令和元年度新温泉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第77号	農業委員会委員の任命同意について	認定第4号	令和元年度新温泉町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第78号	農業委員会委員の任命同意について	認定第5号	令和元年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第79号	農業委員会委員の任命同意について	認定第6号	令和元年度新温泉町温泉地区残土処分場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第80号	農業委員会委員の任命同意について	認定第7号	令和元年度新温泉町七釜温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第81号	農業委員会委員の任命同意について	認定第8号	令和元年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計歳入歳出決算の認定について
議案第82号	農業委員会委員の任命同意について	認定第9号	令和元年度新温泉町水道事業会計歳入歳出決算の認定について
議案第83号	農業委員会委員の任命同意について	認定第10号	令和元年度新温泉町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について
議案第84号	農業委員会委員の任命同意について	認定第11号	令和元年度新温泉町公立浜坂病院事業会計歳入歳出決算の認定について
議案第85号	農業委員会委員の任命同意について	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第86号	農業委員会委員の任命同意について	意見書案第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
議案第88号	令和2年度新温泉町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	意見書案第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択の要請について



挿し絵 清水伸子氏

みんなの広場

山陰海岸ジオパークの自然を遊び尽くす！

ジオセン. s センテンス 但馬因幡探究クラブ

代表 福原 公一郎

活動内容は…ジオセン. s 但馬因幡探究クラブは「山陰海岸ジオパークの自然を遊び尽くす！」をテーマに、子ども向けの自然観察会、自然の素材を用いた工作、マリンスポーツなど、様々なイベントを企画し、皆さんと楽しむ団体です。モットーは「自分たちが楽しいことを、皆さんと一緒に楽しむ！」です。

いつから、きっかけは…ジオガイド講座を受講したメンバーが声をかけ、2017年10月に結成しました。今年で4年目を迎えます。子育て世代が集まり、「我が子や町の子ども達が身近な自然を一杯楽しめていないのでは？この町の自然を楽しめるイベントを、自分達で作ってしまおう！」と立ち上げました。

メンバーは…子育て世代が中心です。Uターンや、他地域から嫁いできたメンバーも多いです。他の地域に住んでみて、この町の自然の豊かさ、貴重さをより強く感じている仲間の集まりです。

セールスポイントは…私達が企画しているイベントは、地域の達人の方々に加え、鳥取環境大学の学生や豊岡のNPO団体のご協力も



あり、多種多様な内容を取り揃えています。鳥取市から豊岡市まで、広い範囲の方々にも参加していただいています。また、お子様だけでなく、大人の方も夢中になれるイベントも盛り沢山です。

今後の抱負は…リピーターも増えてきました。初めての方が一緒に楽しめることはもちろん、こうしたリピーターの方々にも、「次もどんなイベントだろう？」とワクワクし続けてもらえるよう、新たなチャレンジを続けていきたいです。

皆さんにお願いしたこと…身近にあるようで、実はよく知らないこの町の自然と一緒に楽しみませんか？「自然の中で子どもを遊ばせたいけれど、親だけだと大変だな。どうしたら良いかわからないな。」と思っている皆さん、是非一緒にこの町の豊かな自然を満喫しましょう！地域のイベント

や学校の行事などにもお声かけ下さい。
その他…自然観察会やワークショップの他にも、SUPやヨガ、トレイルウォークなどに、それぞれが興味のある分野を企画し、メンバー皆でイベントを作り上げています。SNSでも発信していますので、気なる方は検索してみてください。

編集後記

毎年、私たち議会広報調査特別委員会は兵庫県町議会議長会主催の議会広報研究会の研修を受けています。今年度は8月下旬に県民会館で3密を避け、2班に分けて行われました。講師は元新聞記者の方で、今回の講習では、他町の議会だよりに対する質問や感想をもつて提出し、それを講師が自分の意見も合わせて質問され、それに各町の広報委員が答えるという形式で行われました。

それぞれ指摘された事項を踏まえ、町民の皆さんに関心を持ってもらい、読みやすい紙面づくりを心掛けていきます。

(Y・M)

次回定例会は12月です。傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会

- 委員長 阪本晴良
- 副委員長 平澤剛太
- 委員 河越忠志
- 濱田直子
- 森田善幸
- 竹内敬一郎

発行者 議長 中井 勝